

e-Learning による 数理・データサイエンス教育

林 敏浩 (香川大学学長特別補佐、創造工学部 教授、大学連携 e-Learning
教育支援センター四国センター長、総合情報センター副センター長)

講師略歴

平成元年3月 徳島大学工学部情報工学科卒業、平成6年徳島大学にて博士(工学)の学位取得。平成6年より佐賀大学理工学部講師、平成17年より香川大学総合情報基盤センター准教授、平成25年より香川大学総合情報センター教授。教育工学を専門として、大学全体の教育支援システムを含むコンピュータ・ネットワークシステムの導入、運用、管理、利活用支援まで広範に担当。

プログラム概要

Society 5.0 で実現する社会で、論理的思考能力や規範的判断力に基づき柔軟に対応できる人材育成が急がれています。このような社会要請に基づき、香川大学に入学した学生が文系理系を問わず初年次に身につけるべき数理・データサイエンスの基礎を学習するために、令和2年度より、1年次生対象に開講される必修科目として「情報リテラシーB」を e-Learning で提供しています。

このプログラムでは、まず、本学で開講している情報リテラシーB の設計について説明します。さらに、オンデマンド型 e-Learning として、どのように授業運用しているかについて技術面も含めて説明します。これらをたたき台として、e-Learning による数理・データサイエンスの基礎科目の利点や欠点を検討します。参加の皆様とのディスカッションを通して一歩進んだ数理・データサイエンス科目の運用方法を検討できればと思います。

主な受講対象者

カリキュラムの開発や評価に関わる教職員

到達目標

1. 数理・データサイエンスで何を教えるべきか説明できる。
2. 数理・データサイエンスのための授業の要件を説明できる。
3. 数理・データサイエンスのための e-Learning による授業運用の利点と欠点を説明できる。

日時

8月25日(水)15時00分~17時00分